

暮らしと健康を守る最新検査法

— 研究者に会いに行こう —

・名古屋大学大学院医学系研究科 ・名古屋大学医学部保健学科

本学は昭和58年以来、大学での研究成果や知的財産を地域の皆様に還元することを目的として、健康や医療に関わるテーマで一般市民の皆様を対象とした公開講座を開催してまいりました。今年、「暮らしと健康を守る最新検査法」と題して3つの講義を開講します。研究に関心のある方、最新の知見を勉強(収集)したい方、研究者をめざしている方など皆様のご来場をお待ちしております。

受講料
無料

2018.10.20 sat
10:00-12:20

名古屋大学大幸キャンパス
東館4階大講義室
(展示場所は本館2階第1講義室)

[定員] 80名 事前の申し込みが必要です。

※当日直接ご来場された場合でも席に余裕があれば受講いただくことができます。

講座内容

第1講 10:00-10:30

からだに侵入した殺虫剤の モニタリング技術

[内容] 私の研究室では、日常的に使用している殺虫剤(農薬を含む)がわたしたちの健康に影響しているかどうかを評価するための手法を開発しています。本講座では、わたしたちの研究の一つである「使用済みオムツを用いた高感度殺虫剤曝露マーカー測定法の開発」を例に、研究開発の一連の流れ(発案、開発、実践応用等)をわかりやすく紹介します。

(名古屋大学大学院医学系研究科 病態解析学講座・准教授) 上山 純



第2講 10:30-11:00

大幸キャンパスで最近発見した 新規静脈血栓症リスクとその検査法

[内容] 止血のために血液は凝固しますが、血管内では凝固しないようにコントロールされています。私たちは血栓症を発症してしまった患者さんがどうしてうまくコントロールできなかったのかを追求し、これまで知られていなかった血栓症リスクを発見。その検査法を開発しました。それらの経緯をご紹介します。

(名古屋大学大学院医学系研究科 病態解析学講座・客員研究者) 高木 明



第3講 11:00-11:30

肺癌のバイオマーカー検査の 進歩と個別化治療

[内容] 私の研究室は肺癌の新たな創薬開発につながるような治療標的の発見を目指しています。肺癌は、これまでの基礎的研究の臨床応用によりバイオマーカー検査に基づいた個別化治療が最も進んでいる癌の一つです。本講座では、肺癌の個別化治療の現状と今後の展望をご紹介します。

(名古屋大学大学院医学系研究科 病態解析学講座・教授) 佐藤 光夫



展示 11:30-12:20

顕微鏡で臓器を見てみよう。研究について尋ねてみよう。
病理標本の観察と、教員や大学院生による研究紹介を行います。

お申し込み方法

- ▶ はがき、ファクス、または電子メールのいずれかでお申し込みください。
- ▶ お申し込みには、【市民公開講座申し込み】と明記のうえ、氏名(フリガナ)及び連絡先を必ず記入してください。
※電子メールの場合、表題を【市民公開講座申し込み】としてください。
- ▶ 締め切り: 10月6日(金) 到着分
※受講可能な場合、お申し込みへの返信はいたしません。

お申し込み先

〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20
名古屋大学大学院医学系 研究科(保健学) 教務学生係
Fax: 052-719-1506
E-mail: ihogakumu@adm.nagoya-u.ac.jp (申込み専用)

その他

受講申込時に記載された個人情報等は、本公開講座の運営のみに利用させていただきます。また名古屋市に暴風警報が発令され、午前8時までに解除されない場合や災害や感染症の流行等が生じた場合には、公開講座は中止とさせていただきます。その際は、本研究科ホームページ(<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/>)上でお知らせしますので、開講前は特にご注意願います。

後援

愛知県看護協会、愛知県診療放射線技師会、愛知県臨床検査技師会、愛知県理学療法士会、愛知県作業療法士会

会場への交通案内

- ▶ 名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車(1番出口)徒歩5分

